

青い鳥は探しに行くものでなくて、足元にあります。自分の足元を慈しみ、よりよい姿住みよい形に変えていきましょう。自分の足元をしっかりとっていくことがたいせつです、中条ではみんなそれをやっている気がしてウオーって感じです。この中条が好きになりました。

関野吉晴さん（グレートジャーニーの世界的探検家）

パネルディスカッション
「世界中があこがれる
中条をつくらう」

中条の夢へ、大ボラ吹きつつ、天神囃子飲みつつ、楽しくやっていくこと、続けていくことがすばらしい中条をつくっていくことになると思います。

福嶋恭子さん（中条みんなのお母さん）

たぶん縄文時代の創世記には、嘘は無かったように思う。悪意の嘘をつく必要がないと思うから。自然もまた嘘をつかない。ところが現在。嘘だらけ。自分にまで嘘をついたら体もこわれる。自然にまで盾突くから自然もこわれる。この中条の役割として、嘘をつきながら誤魔化してきたこれまでの歴史から、嘘をつかない自然体の生き方の発信なのかな・と感じた。

江口 歩さん（新潟お笑い集団NAMARA代表）

この地を大好きな人たちがたくさんいることを感じます。とてもすてきです。中条にとってもたいせつなものを見ました。

酒井美直さん（アイヌの若者たちのパフォーマンスグループ「AINU REBELS」代表）

地域のみなさんと中条の夢を語る大ボラ吹き大会をやった時、愛と平和が生まれる里中条だ！とか、中条をいやしの里にしようとか、私が愛の使者になる！とか、すてきな夢がいっぱい出ました。夢は大きく、生きることは身近です。中条の4,000人が一人一人できることを集めればきっと大きなことができます。子どもたちもできることはたくさんあります。みんなで世界中が憧れる中条をつくりましょう！

小見まいこさん（NPO まちづくり学校）

